

ファイナルレポート

国際コンポーネント・システム・アプリケーション専門見本市
2021年4月14日～16日
中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)

2021年4月19日

20周年記念を迎えて、electronica China は盛況のうちに幕を閉じる

Summary

- 1,116社の出展と48,268人の来場
- 展示スペースはパンデミック前の開催に比べて42.5%増
- 新しいハイライトとして electronica Automotive China
- 20周年記念を迎え、他に類を見ない見本市へと成長



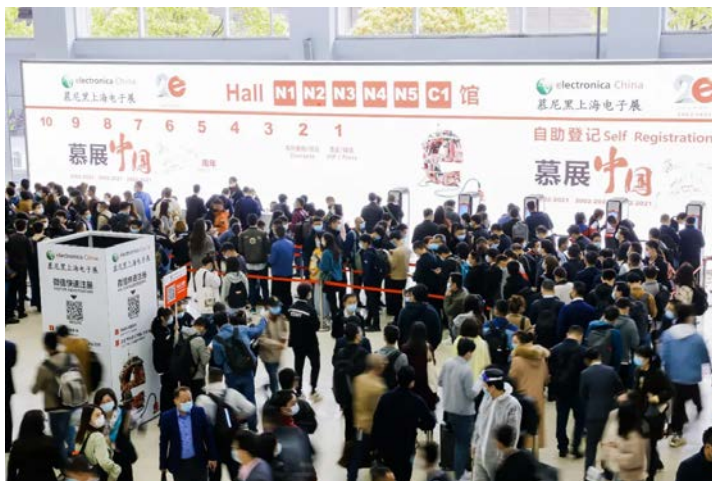
Facts & Data

会 期	2021年4月14日(水)～16日(金) 9時～17時(最終日のみ16時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	60,000 m ² (*2020年:90,000 m ²)
出 展 企 業	1,116社 (*2020年:20ヶ国 1,373社)
来 場 者 総 数	48,268人 (*2020年:81,126人)
主な出展品と 出 展 技 術	<electronica China> 半導体全般、パワー半導体部品、エンベデッド・システム、センサー、MEMS、リレー、スイッチ、配線技術、受動部品、モーター、駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、マイクロ波技術、ディスプレイ、パワーサプライ
出展日本企業 (現法出展など含む)	I-PEX(株)、アルプス電気(株)、(株)キーエンス、コーデンシ(株)、サンエツ金属(株)、(株)シマデン、新日本無線(株)、スミダコーポレーション(株)、第一精工(株)、太陽誘電(株)、TDK(株)、ニチコン(株)、日本ガイシ(株)、日本航空電子工業(株)、(株)日本抵抗器製作所、日本電計(株)、(株)原田伸銅所、ヒロセ電機(株)、富士端子工業(株)、(株)村田製作所、リコー電子デバイス(株)、ルネサス エレクトロニクス(株)、(株)ヨコオ ほか(50音順)
専 用 U R L	www.electronica-china.com (英語)

*productronicaChinaとelectronicaChinaの共同開催数値

electronica China 2021 は、2021 年 4 月 14 日から 16 日まで中国・上海新国際見本市会場（SNIEC）で開催され、成功裏に終了した。60,000 m²の展示スペースに 1,116 社が出展して革新的なソリューションを紹介し、48,268 人の来場者を惹きつけた。展示スペースはパンデミック前の 2019 年開催に比べて 42.5%拡大した。今回 20 周年を迎えた electronica China は、過去最大規模で開催され、エレクトロニクス業界を次のステージへと引き上げた。

主催者メッセ・ミュンヘンのマネージングダイレクター、ファルク・ゼンガーは、「今回初めて productronica China と日程を分けて開催したが、世界的にパンデミック状態が続いているにもかかわらず、electronica China が中国市場において重要な見本市という位置づけにあることを顕著に示す結果となった。今後、electronica China において更に多くの革新的技術がもたらされることは言うまでもなく、この場がますます重要なビジネスプラットフォームになっていくことは明らかだ」と話した。



メッセ・ミュンヘン上海の最高執行役員であるスティーブン・ルーは、「これまで 20 年間 electronica China を支援してくださった皆様に深く感謝している。また、今年 electronica China と productronica China がそれぞれ別の日程で開催され、両方とも大きな成功をおさめたことを大変うれしく思っている。今回それぞれにおいて広い展示スペースが確保され、より多くの出展社を迎えることができ、ビジネスプラットフォームとしてより充実した安定的な成長を遂げる新しいステージへ突入したと考えている。今後も、electronica China と productronica China は双方の強みをシェアしつつ、共に成長を図り、出展社、来場者に更なる付加価値を提供していく」と話した。

新しいハイライト:「electronica Automotive China」

今回 electronica China はオートモーティブ・エレクトロニクス（カーエレ）にフォーカスし、研究開発とビジネスを結ぶ展示エリア「electronica Automotive China」を新たに設けた。このエリアは、包括的プラットフォームとして、オートモーティブ・インテリジェント技術の開発を推進する。近年、NEV（新エネルギー車）開発の力点は、徐々に市場のフロントエンドからバックエンドに移行し、そのすう勢は業界チェーン全体に進展してきている。NEV の市場競争が幕を開けた。この変革に対応するために、スマートモビリティ・ハイテクパークでは、自動運転やスマート・コネクテッドカー、NEV やボディ・エレクトロニクスなどに関する高度な技術が紹介された。同時に見本市会場では、「オートモーティブ・デイ」、「China Vehicle Human-Machine Interaction Innovation Conference 2021」、「the Gasgoo Match-making Event」、「International Automotive Electronics, Electric Vehicle Innovation Forum」などの会議プログラムも開催され、エレクトロニクス分野の研究者や専門家などがスマート・トラベル技術の発展について議論を交わした。



Dosilicon 社の Lei Chen 氏は、「electronica China はますます専門性を高め、今回も多くの来場者が当社の技術に興味を示してくれ、大変満足している。今後も electronica China を介して高度な技術を市場に発表していきたい」と語った。

ルネサスエレクトロニクス香港社の Zhien Lin 氏は、「electronica China は、前回に引き続いて今回も大変多くの人でにぎわっており、当社の製品紹介にとって非常に有効な場となった。来年もぜひ出展したい」と話した。

スマートファクトリーはインテリジェント製造の要

スマートファクトリーは、インダストリー4.0の中心的な概念として、製造変革のための重要な基盤となっている。製造業者やバリューチェーンに関わる全ての企業にとって、コストの削減、製造やサービスの品質向上、開発期間の短縮、生産の柔軟性の向上、顧客やサプライヤーとのコミュニケーションの改善は非常に重要であり、その命題に対して将来の工場におけるIoTが重要な役割を果たすことになる。

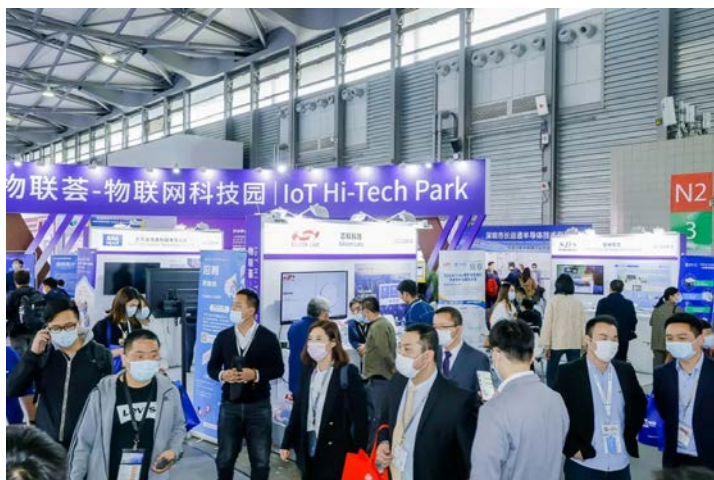
electronica ChinaではSmart factory Hi-Tech Park & AIoT China ユーザーグループを提供し、「International Power Electronics Innovation Forum」、「International Embedded System Innovation Forum」、「2021 "5G+ Industrial Internet" Summit Forum」、「Global Internet of Things Summit: Smart Perception in Digital Transformation」、「Global Internet of Things Summit: Quality and Development Efficiency of Embedded Code」など、多くの会議プログラムを開催した。

TDK中国の浅沼俊英氏は、「今年は新しい技術やソリューションが非常に多く紹介されていた。そのうえ、多くの中国メーカーの技術の高さにとても驚いている。electronica Chinaは多くの出展社と質の高い来場者が集まり、当社にとっても大変重要なビジネスの場となっている」と語った。

Huawei Technologies社のZhen Qin氏は、「electronica Chinaはとても専門性が高く効率性も良い。来年は来場するだけでなく、当社の製品もここで発表したい」と述べた。

業界の専門家によるフォーラム

electronica Chinaで開催されたフォーラムは、カーエレ、IoT、5G、インテリジェント製造、医療用エレクトロニクス、パワーエレクトロニクスなど、多くの重要なトピックスを網羅した。今年は、アプリケーションに沿った最先端のトピックに関する12件以上のフォーラムが開催された。フォーラムでは、100人を超える専門家や起業家が、業界のトレンドやポリシー、技術の進歩やソリューションに関する見解を発表し、4,748人が聴講した。



また、次回 electronica China は 2022 年 5 月 6 日から 8 日まで SNIEC で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで：www.electronica-china.com（英語）

資料請求、各種お問合せ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp（日本語） www.messe-muenchen.de（英語/ドイツ語）